

FORUM OF IKUSUI FOR THE SUSTAINABLE ASAKURA RIVER

SDGS への 取り組み 朝倉川とともに・・・子どもたちの体験を持続可能なチカラに・・・

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



Forum of IKUSUI
for the sustainable asakura river

No5400882

特定非営利活動法人 朝倉川育水フォーラムの取組み

里山の再生とビオトープづくり

朝倉川530大会

ホタル飼育ネットワークの構築

朝倉川における継続的な水質及び生物指標のモニタリング調査

「水辺の緑の回廊」事業による川縁への植樹と地域ネットワークによる継続的なメンテナンス … etc

1995年設立

2015

2020年～

「朝倉川流域ビジョン 2015」での提言の実現に向けて…
地域のネットワーク（行政・自治会・様々な活動団体）強化
による未来を支えるための体験の提供
豊橋ローターアクト
プレーパークとよはし etc

「朝倉川流域ビジョン 2015」の作成と4つの提言

- 朝倉川530大会・朝倉川植樹メンテナンス大会など地域市民参加型環境啓発事業の継続
- 河川調査を中心とした環境（水質・生態系etc）のモニタリングの継続実施
- 絶滅危惧種「川ガキ」の再生に向けての制度作りへの提言
- 地域の人たちが自分たちの「水」を支えるための「水循環条例（理念条例）」の制定

■ 朝倉川530大会

1997年の設立当初から継続的に行っています、朝倉川流域全域で行われています530活動です。

現在では、累計参加人数50,000人を超え、地域で多くの方々にも積極的に参加していただける「運動」へとつながっています。

特に、河川と海洋との関係を考えても、近年の海洋中のマイクロプラスチックに対する課題解決の一つとしても大きな意義のある活動です。



「朝倉川へのメッセージ」の募集

— 朝倉川530大会併催イベント —

朝倉川流域全域で行われています530活動である「朝倉川530大会」の実施と併せて「朝倉川へのメッセージ」の募集を行っています。

この事業は、530運動の一環のとしての環境啓発活動のひとつとして、1999年の第3回朝倉川530大会に実施しました「朝倉川530大会作文コンクール」からスタートし、ポスター、標語、4コマ漫画、写真など様々なコンクールの実施を行ってきました。

そして2006年の第10回の開催のタイミングで「手法にこだわらず多くの皆さまが気軽に参加できる手法で・・・」と変更し、その後継続事業として開催してまいりました。

現在では、豊橋市内の小中学校の4年生を中心に総合的な学習のカリキュラムの一つとして取り組んでいただけるパートナーも増え、毎年約500作品に及ぶ応募があり多くの皆様の環境への関心の高さを感じています。



■ 朝倉川植樹メンテナンス大会

1998年から5年にかけては愛知県の「水辺の緑の回廊」事業との協働で、朝倉川上流部 蟬川橋から寺門橋の間に44,000本の朝倉川流域で望ましいと考えられる河畔林を形成してきた樹種を植樹しました。

その後、社会環境と自然環境がうまく両立するような形を目指して、朝倉川を取り巻く人たちと良い形を作っていくために、河川管理者、自治会、企業などで構成される「朝倉川植樹メンテナンス大会実行委員会」を中心に地域の自然環境、治水と生活とのバランスを考えながらメンテナンス作業を実施しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

■ 里山づくり・ビオトープ保全活動

1998年から豊橋市東部丘陵地帯の多米町滝ノ谷地区付近の国有林及び故加藤茂二氏より隣接地を無償で借り受け、ホタル再生のサンクチュアリとしてのビオトープづくりを開始しました。

ゲンジボタルのみならず、ヒメタイコウチなどの希少生物種の再生の場面だけでなく、「絶滅危惧種 川ガキ」の再生に向けて、子どもたちの「体験の場」として役割の変化を遂げつつあります。

豊橋市内の小中学校との協働による、継続的な体験学習に加え、2020年からは、コロナ禍ながら「とよはしプレーパーク」発足のサポートと協働活動を通じて、子どもたちのみならず、「親子での体験と感動・・・」を通じて、「自由」を考え直し、人と人とのつながりにチカラを入れて活動の幅を広げています。



■ 朝倉川河川調査による 水質及び指標生物のモニタリング

2002 年より、朝倉川の水質および指標生物の生息状況のモニタリング調査を各季節ごとの年間 4 回定点調査を以下の場所で行っています。

- ① 西郷橋上流部
- ② 豊橋競輪場北側水上ステージ付近
- ③ 公園橋下流部の内山川との合流点
- ④ 滝ノ谷池ビオトープ

さらに、単なるモニタリング活動だけではなく、「朝倉川探検隊」と称してに水質モニタリングや水生生物の捕りかたの教室を実施していきながら「絶滅危惧種川ガキの再生」に関する活動や、調査結果に基づいた提言活動などを継続的に行っています。



■ 絶滅危惧種「川ガキ」の再生

2015年に作成した、「朝倉川流域ビジョン2015」でも提言させていただいています
「子どもたちの体験を持続可能なチカラに・・・」をコンセプトに様々な次世代の皆様
たちと共に様々な、体験型の事業を行っています。

- ① 「朝倉川探検隊」の実施
- ② 「朝倉川へのメッセージ」の募集
- ③ 各種「環境出前授業」の実施
- ④ 「とよはしプレーパーク」とのパートナーシップによる滝ノ谷池ビオトープでの
プレーパーク事業の実施

